

2025 JUA/AUA Resident Program 参加報告

木 内 ゆりあ（東京慈恵会医大）

東京慈恵会医科大学附属病院泌尿器科に所属している木内ゆりあと申します。この度、2025年度JUA/AUA Resident Programに選出していただき、2025年4月26日から29日に米国ネバダ州のラスベガスで開催されたAUA annual meetingに参加させていただきました。私自身、国外の学会参加は初めての経験で約1週間の滞在でしたが色々な経験ができ、とても充実した期間を過ごすことができました。1人でラスベガスの空港に到着するや否や翌日からのスーツや書類が全て入ったスーツケースがロストバゲージし、てんやわんやしたのも今となっては良き思い出です。（なんとか懸命に訴え到着日の夜間に手元に届きました。）

AUAの会場は想像以上に広く、同時にさまざまなブースでたくさんのセッションが行われており、1日中会場内にいても飽きることはありませんでした。

また、Resident programの一環としてresidentのみが出場するチーム制のクイズ大会であるResident BowlにJUA枠として出場させていただきました。1チーム5人の全8チームの編成で、私はMid-Atlantic Sectionのメンバーとして出させていただきました。泌尿器全般に関する問題でしたが、どの問題も難易度が高い中、各国のresidentがどんどん回答していく姿を目の当たりにしてレベルの高さにたいへん驚いたと共に自身ももっと頑張らないと、と大変良い刺激を受けることができました。

JUA/AUAの共同講演会後の親睦会では普段なかなかお話することができない日本泌尿器科学会理事長の江

藤先生や他大学の先生方とも交流することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回のProgramを通してAUAの学会に参加できたことで今後の自身の泌尿器科医としての目標も明確になり、より一層普段の業務も全力で取り組んでいく所存です。

最後になりますが、推薦して下さいました木村高弘教授はじめ、選出していただきました日本泌尿器科学会理事長江藤正俊先生、国際委員長の富田善彦先生、日本泌尿器科学会事務局の田中有希様、学会期間中快く送り出して下さった東京北医療センターの先生方、ご指導含め関わって下さった皆様に心より感謝申し上げます。



写真2 私以外高身長で机が高く1人だけ終始爪先立ちしていた Resident Bowl



写真1 Resident Program で一緒だった三枝先生



写真3 最終日前日夜の AUA International Presidents Reception にて